

流行を創り出し、新しい文化や生活をもたらした百貨店の基礎資料。近代日本の文化史、女性史、経済・経営史にも有用な文献。

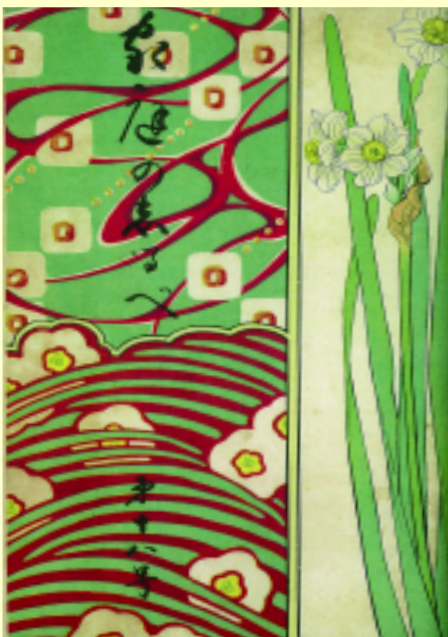
監修 ▲ 瀬崎圭二 同志社大学文学部

シリーズ

# 百貨店宣伝資料

第1期 白木屋 全27巻(予定)

ゆまに書房



シリーズ

# 百貨店宣伝資料

第1期：白木屋 全27巻(予定)

[監修] 瀬崎圭二 同志社大学文学部 A5判上製/カバー ● 揃予価：本体529,000円+税 ISBN978-4-8433-5444-5 C3363

明治・大正期において、流行の商品を消費者に宣伝し販売するために、各百貨店から発行された宣伝資料(PR誌)を復刻する。企業の宣伝誌という性質上、現存している資料も少なく、復刻版を通して、百貨店によって発信された近代日本の消費空間や企業イメージを捉えるとともに、流行を創り出し新しい文化や生活をもたらした百貨店の基礎資料として、近代日本の文化史、および経済・経営史の一助としたい。

第一回配本・全4巻『家庭の志る遍』 1904(明治37)年7月～1905(明治38)年12月 2018年11月刊行予定

◆全4巻揃予価：本体77,000円+税 ISBN978-4-8433-5445-2 C3363

●第1巻●『家庭の志る遍』第1号～第4号/1904(明治37)年7月～10月 定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-5446-9

●第2巻●『家庭の志る遍』第5号～第8号/1904(明治37)年11月～1905(明治38)年2月 定価：本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-5447-6

●第3巻●『家庭の志る遍』第9号～第13号/1905(明治38)年3月～7月 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5448-3

●第4巻●『家庭の志る遍』第14号～第18号/1905(明治38)年8月～12月 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5449-0

第二回配本・全9巻『流行』 1906(明治39)年1月～1908(明治41)年12月 2019年刊行予定

◆全9巻揃予価：本体171,000円+税

第三回配本・全7巻『流行』 1909(明治42)年1月～1912(明治45・大正元)年12月 2019年刊行予定

◆全7巻揃予価：本体132,000円+税

第四回配本・全7巻『流行』 1913(大正2)年1月～1918(大正7)年2月 2019年刊行予定

◆全9巻揃予価：本体149,000円+税

社史で見る日本経済史 ●95 ●本体24,000円

**花ごろも** (三井呉服店編輯・刊 1899年)

社史で見る日本経済史 ●96 ●本体15,000円

**春模様** (三井呉服店編輯・刊 1900年)

『花ごろも』と『春模様』は、三越の前身、三井呉服店の発行した、富裕層向けのPR誌。巻頭の晴れ着が女性の購買意欲をそそり、当時の通販カタログの役目を十分に果たしているとともに、副題の「三井呉服店案内」の通り、百貨店の前身の呉服店時代の三越の様相を十分に伝える社史としての役割も果たしている。掲載されたエッセイ・小説からも当時の企業文化を伝える資料といえる。

高島屋百年史 (1941)

●社史で見る日本経済史 41 本体34,000円

三越 (1933)

●社史で見る日本経済史 54 本体15,000円

松坂屋三百年史 (1935)

●社史で見る日本経済史 55 本体15,000円

大阪急 (1936)

●社史で見る日本経済史 59 本体10,000円

大丸二十年史 (1940)

●社史で見る日本経済史 60 本体13,000円

松屋発展史 (1935)

●社史で見る日本経済史 64 本体13,000円

大伊勢丹 増築完成記念 (1936)

●社史で見る日本経済史 65 本体14,000円

東横百貨店 開店五周年記念出版 (1939)

●社史で見る日本経済史 69 本体15,000円

京浜デパート大観 開店五周年記念 (1938)

●社史で見る日本経済史 70 本体10,000円

ゆまに書房 YUMANI SHOKU

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL .03 (5296) 0491  
FAX.03 (5296) 0493  
http://www.yumani.co.jp/  
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方● 日本近代史、社会史、文化史、商業史、メディア史研究者ほか研究機関、大学図書館・公共図書館など。

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491 / Fax.03 (5296) 0493 年 月 日	取扱店
	シリーズ 百貨店宣伝資料 第1期・第一回 全4巻 ●揃予価：本体77,000円+税 ISBN978-4-8433-5445-2 C3363	
お名前		
ご住所		
	TEL ( )	

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。



●第一巻 ●『家庭の志る遍』第一号〜第四号

一九〇四(明治三七)年七月〜一〇月

【第一号】一九〇四(明治三七)年七月  
「発刊の趣意」／「裁縫指南」／「室内裝飾」松浦伯直伝／「式法 婚礼之部」／「通俗法律」／「笑門」丈八／「流行案内」／「茶道」勇猛精進庵／「料理法」／「素人医者」／「小説」夏蜜柑／青瀧／表紙画(内山竹塘)

【第二号】一九〇四(明治三七)年八月

【第三号】一九〇四(明治三七)年九月  
「祝捷の異議」／「裁縫指南」／「通俗法律」／「笑門」丈八／「流行案内」／「雑録」寄書「玄斎」文苑「川柳」俳句／「室内裝飾」松浦伯直伝／「茶道」(承前)／「小説」敵味方」むら

【第四号】一九〇四(明治三七)年一〇月

【第五号】一九〇四(明治三七)年十一月  
「戦争と婦人」／「裁縫指南」物外／「流行」／「室内裝飾」松浦伯直伝／「式法」漱石／「素人医者」／「料理法」／「通俗法律」／「笑門」丈八述／「貴女紳士交際法」北廬訳／「茶道」勇猛精進庵

●第二巻 ●『家庭の志る遍』第五号〜第八号

一九〇四(明治三七)年十一月〜一九〇五(明治三八)年二月

【第六号】一九〇四(明治三七)年二月  
「育児法」叢軒／「雑録」／「文苑」／「小説」魔力」月下人  
【第七号】一九〇五(明治三八)年一月  
「年賀矯正の好機会」／「小説」朝風呂 春人／「流行案内」／「貴女紳士交際法」北廬／「育児法」叢軒／「笑門」丈八述／「茶道」勇猛精進庵／「雑録」寄書 奥州の方言と八犬伝 中村生／「文苑」／「裁縫指南」物外居士／「口絵」恵方詣 寺崎広業画伯／「全」松間の富嶽 川合玉堂画伯／「絵葉書」二葉 磯野吉雄先生

【第八号】一九〇五(明治三八)年二月

【第九号】一九〇五(明治三八)年三月  
【社説】「恐るべき風潮」／「裁縫指南」物外居士／「流行案内」／「育児法」叢軒／「笑門」丈八／「料理法」／「式法」漱石／「文苑」笑阿弥／「室内裝飾法」松浦伯直伝／「茶道」勇猛精進庵／「雑録」／「小説」女記者 春人

【第二〇号】一九〇五(明治三八)年四月

【第二一号】一九〇五(明治三八)年五月  
【論説】「自然感化と都市」／「裁縫指南」(承前)物外／「流行案内」／「育児法」叢軒／「文苑」川柳「新風俗詩」俳句／「室内裝飾法」松浦伯直伝／「笑門」御大名」其二「町人の子」丈八／「雑録」／「小説」当籤 遅塚麗水／「表紙画」稲田吾山先生／「絵はがき」二葉」磯野吉雄先生

【第二二号】一九〇五(明治三八)年六月

【第二三号】一九〇五(明治三八)年七月  
【第九号】一九〇五(明治三八)年三月  
【社説】「恐るべき風潮」／「裁縫指南」物外居士／「流行案内」／「育児法」叢軒／「笑門」丈八／「料理法」／「式法」漱石／「文苑」笑阿弥／「室内裝飾法」松浦伯直伝／「茶道」勇猛精進庵／「雑録」／「小説」女記者 春人

【第二四号】一九〇五(明治三八)年八月

【第二五号】一九〇五(明治三八)年九月  
【第二六号】一九〇五(明治三八)年一〇月  
【第二七号】一九〇五(明治三八)年十一月  
【第二八号】一九〇五(明治三八)年十二月

【第二九号】一九〇五(明治三八)年七月  
【第三〇号】一九〇五(明治三八)年八月  
【第三一号】一九〇五(明治三八)年九月  
【第三二号】一九〇五(明治三八)年一〇月  
【第三三号】一九〇五(明治三八)年十一月  
【第三四号】一九〇五(明治三八)年十二月

●第四巻 ●『家庭の志る遍』第一四号〜第一八号

一九〇五(明治三八)年八月〜二月

【第一四号】一九〇五(明治三八)年八月  
「上塗主義」／「裁縫指南」物外／「流行案内」／「室内裝飾法」松浦伯直伝／「育児法」叢軒／「笑門」丈八／「料理法」／「雑録」／「文苑」新体詩 俳句／「化粧法」水藻／「小説」青瀧「船世帯」

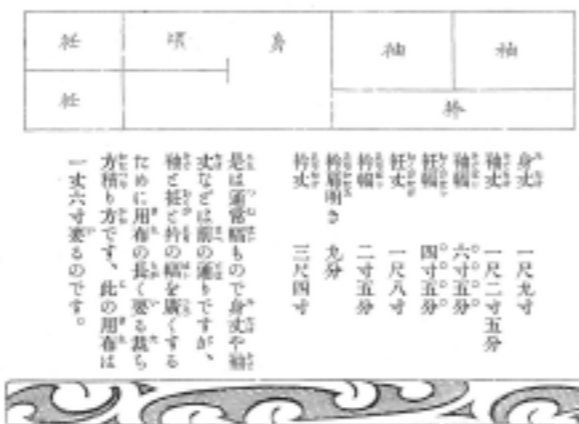
【第一五号】一九〇五(明治三八)年九月

【第一六号】一九〇五(明治三八)年一〇月  
【第一七号】一九〇五(明治三八)年十一月  
【第一八号】一九〇五(明治三八)年十二月

【第一九号】一九〇五(明治三八)年一月  
【第二〇号】一九〇五(明治三八)年二月  
【第二一号】一九〇五(明治三八)年三月  
【第二二号】一九〇五(明治三八)年四月  
【第二三号】一九〇五(明治三八)年五月  
【第二四号】一九〇五(明治三八)年六月  
【第二五号】一九〇五(明治三八)年七月  
【第二六号】一九〇五(明治三八)年八月  
【第二七号】一九〇五(明治三八)年九月  
【第二八号】一九〇五(明治三八)年一〇月  
【第二九号】一九〇五(明治三八)年十一月  
【第三〇号】一九〇五(明治三八)年十二月

◆…… 本文見本 ……◆

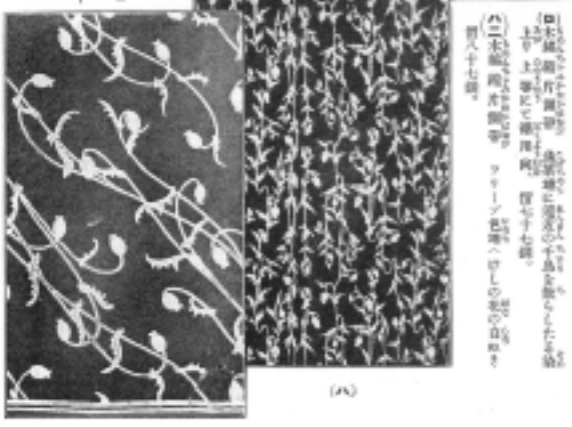
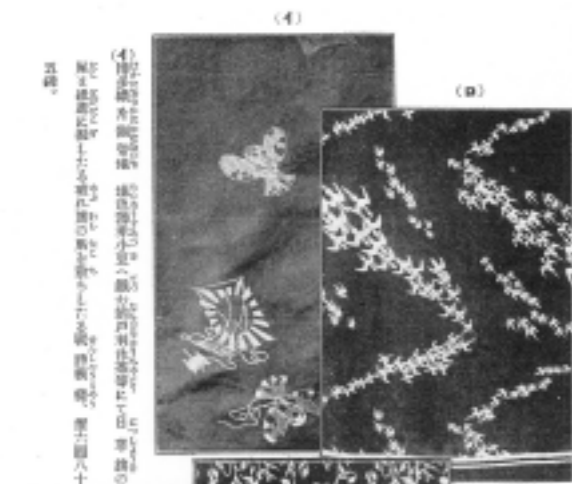
65%に縮小してあります



「アア是から此の通り方を裁えますから解らない所が有つたらお質問なさいよ」といふ子は軽く頷いて居る。身丈一尺九寸の三倍五尺七寸の内から裾下りの一寸を減れば五尺六寸となりませう、其れへ袖丈の一尺二寸五分の四倍五尺を加へれば一丈六寸になります、これが用布の式です。身丈一尺九寸を何故三倍するものでせう、それは一寸身丈一尺九寸が前と後とで三尺八寸これが二倍でせう、それへ袖丈を袖に身丈と同じと見てこれが一尺九寸で三倍にならませう、其のうちに裾下りを一寸減くのですから、夫れ身丈の三倍から一寸減く裾になりませう、斯う覚えてお置かば身丈を長くしても短くしても三倍に裁つてそれから裾下りも減ればよいので

上右:「裁縫指南」(『家庭の志る遍』第一号より)  
上左/下:「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)

●白木屋は一六六二(寛文二)年に創業。越後屋(現・三越)や大丸屋(現・大丸)と並んで江戸三大呉服店の一つに数えられる。『家庭の志る遍』は、婦人向け総合雑誌として創刊(全一八号・一九〇四(明治三七)年七月〜一九〇五(明治三八)年十二月)。結婚前後の若い女性を対象とした。室内裝飾、式法、法律、料理法、育児法や応急手当などのほか、商品紹介、注文の葉、代価表、注文書などを掲載する。  
●後誌誌は、誌名を『流行』に変更(全二四六号・一九〇六(明治三九)年一月〜一九一八(大正七)年二月・第二回配本〜第四回配本に収録予定)。その誌名からも分かるように「流行」を発信する側として、知識人、文化人、芸術家等の談話やエッセイなども掲載し、誌面の充実を見せている。



上右:「裁縫指南」(『家庭の志る遍』第一号より)  
上左/下:「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)



「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)  
「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)



「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)  
「流行案内」(『家庭の志る遍』第一号より)